



行健中学校だより

郡山市立行健中学校

天行は健なり

No.35 2012/2/17 (金)

校長室の窓から「九仞・・・」校長 齋藤正徳

○「九仞の功を一簣に虧く」

こどもの頃、お客様にお茶を運ぶ仕事を言いつけられたことがある。お盆の上に茶碗が二つ載っている。こぼすまいと思うほど手に力が入ってしまいお茶が波立ってしまう。挙げ句の果て、あと一歩というところで足がもつれて転んでしまったという経験はないだろうか？この状況を「九仞の功を一簣に虧く」という。これは、「書経」の中にあり、「朝夕に、自分の行いに気をつけて努力を重ねないとならないのです。小さなことであっても気持ちがいかにしっかりとしていないと、いつかは取り返しのつかないこととなります。あと一歩のところまで成功するのに、ちょっとした油断で、すべてが水の泡になってしまいます。」と中国の周王朝をつくった文王の息子、召公が兄の武王を諫めていったことばである。

何かが完成しそうになると、人間はとかく気が緩みがちになるものである。飛行機は着陸するときに事故が起きやすいともいわれる。何か成功した直後も危ないものだ。ヒマラヤに登頂成功のあと、下山するときに足を滑らせて命を失うということもよくあることだ。

○「九仞の山も一簣の山より成す」

高い山をつくるのも最初のもっこいばいの土から始まるという意味である。つまり、よい結果を出すには、こつこつと努力を続けなければならないということである。

「千里の道も一歩から」も同じことを言っている。努力することを苦手とする人は多い。できれば、努力せずに成功を手にしたいと思う。そう簡単にはいかないものである。

イチロー選手や松井選手のような天才でさえ努力の連続。いまでも日々の努力を忘れない。

「九仞」ではじまる二つのことば。あなたは、どちらが好きだろうか？

「油断するな！！」といわれるのがよいのか！

「努力しろ！！」といわれるのがよいのか！

どちらがやる気が出るのだろうか。

※「仞」は長さの単位。一仞は約1,6尺。「九仞」は、高さが高いこと。

「一簣」は、もっこ一杯の分量のことから、わずかな量のたとえ。

卒業式全体練習始まる

本日、1回目の卒業証書授与式の全体練習が行われました。3年生はもとより1、2年生も服装、姿勢を正し、本番さながらの緊張感をもって、しっかりと練習に取り組むことができました。

練習に先立ち、大堀教頭先生から卒業式の意義について講話がありました。

中学校生活の中で一番大事な行事であること。「厳か」な行事にしてほしい。そのために、みんなの行動や心をそろえることや形をくずさないで行動することが大切であることを話しました。

卒業証書授与式は、中学校3年間の課程をすべて修了したことを認定し、卒業証書を授与する儀式的行事です。また、卒業と新しい世界への旅立ちを、卒業生、来賓、在校生、職員、皆で祝う式でもあります。全校生が気持ちを一つにした感動のある卒業式にしたいと思います。



3年 卒業式練習の様子

栄光の記録

【福島県書きぞめ展】

書き初め奨励賞 箭内 さん

特選 村上 さん 富樫 さん 水野 くん

金賞 佐藤 くん 市川 さん 内藤 くん 七海 くん

星野 さん 熊谷 さん 和田山 くん 安田 さん

須釜 さん

銀賞 佐久間 さん 高橋 さん 今泉 さん 吉村 さん

畑 さん 矢吹 さん 新田 くん 佐藤 さん

小林 さん 鈴木 さん 吉田 さん 高橋 さん

受賞の皆さん、おめでとうございます！

【来週の主な予定】

20日(月) 月12345

○3学年学力向上週間(～24日)

○3年卒業式練習

21日(火) 火123456

22日(水) 水1234総総

○卒業式全体練習(5校時)

○1・2年生徒集会(6校時)

23日(木) 木123456

24日(金) 金12345

25日(土)

○市小中書きぞめ展 公会堂

26日(日)

○市小中書きぞめ展 公会堂

